

▼ボルヒーール組織接着剤 [外]

【重要度】 【一般製剤名】 フィブリノゲン、トロンビン 【分類】 生体組織接着剤（献血由来）

【単位】 ▼セット

【用法】 フィブリノゲン末をアプロチニン液全量で溶解し、A液とする。トロンビン末をアプロチニン液と同量の塩化カルシウム液で溶解し、B液とする。接着・閉鎖部位に10cm²当たりA液B液各1mlを重層又は混合して適用（増減）

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし（5）

【保存期腎不全患者への投与方法】 減量の必要なし（5）

【特徴】 ヒトフィブリノゲン、血液凝固VIII因子、トロンビン、Caおよびアプロチニンを配合した製剤。組織の接着、閉鎖とそれに続く創傷治癒を目的とする。縫合・接合の困難な場合や血液、体液または体内ガスの漏出をきたす場合に有用である。

【主な副作用・毒性】 ショック、肝機能異常、発熱、胸痛、発熱、頭痛

【更新日】 20121019

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。